

国際規格「ISMS」の認証機関として 情報資産セキュリティリスクを審査

入札参加の要件や新規取引の条件に情報セキュリティ認証の取得を求められるケースが増えている。サイバーセキュリティリスクを熟知した審査機関「ISサーティフィケーション」の認証審査サービスは、企業の情報セキュリティ意識の変革やセキュリティ事故の未然防止にもつながると注目を集めている。

クラウドセキュリティなど 専門の知見を備えた審査員

ISサーティフィケーションは、情報資産全体を対象にした「情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）国際規格ISO/IEC 27001」を主とする情報セキュリティの認証審査を行っている認証機関だ。「日本企業のISMS取得件数は、認証がスタートした2002年以降毎年増加し、年500〜600件の新規認証が行われています。2024年6月末現在、認証を取得した日本企業は1万社以上といわれます」（同社）

ISサーティフィケーションでは、ISMS要求事項に適合し、ISMSが効果的に運用されていると判定

■ ISMS認証を取得することで期待できる効果

- ▶ 顧客の信頼・社会的信頼の維持・向上
- ▶ 社員のコンプライアンス意識の向上
- ▶ 外部からの悪意のある攻撃からの防御
- ▶ 個人情報の漏洩防止
- ▶ 利用するインターネットサービス・IoT機器の脆弱性に対する攻撃からの防御
- ▶ 内部不正（故意・不注意）の防止

■ ISサーティフィケーションの 認証審査の特徴

- ▶ 情報セキュリティおよびクラウドセキュリティに特化
- ▶ お客様（認証取得希望企業）がISMSに期待している導入効果をより強化する審査
- ▶ お客様の立場を考え、お客様に寄り添った審査
- ▶ 審査員は、情報セキュリティ・クラウドセキュリティ・情報技術の職務経験による専門性を保有

ISサーティフィケーションの審査員の 前職略歴の例

- 大手企業の情報技術部門の責任者
- 大手企業のDX推進責任者
- Webデザイナー
- 大手企業の生産管理システム開発者
- ITコンサルタントおよびコンサルティング会社経営
- 国際規格ISOおよびIECの制定・改訂の日本代表委員
- 審査会社の業界団体（日本マネジメントシステム認証機関協議会）の技術委員

した企業にISMS認証を付与する。「当社は品質マネジメントや環境マネジメントといった他のマネジメントシステムの審査は行わず、情報セキュリティに特化した認証機関です。そのため、当社の審査員には情報技術・情報セキュリティ・クラウドセキュリティなど専門技術に精通した専門家がそろっています」（同社）

経営陣との コミュニケーションを重視

マネジメントシステムの認証審査と聞くと、「書類に承認者・承認日の記載がない」といった重箱の隅をつつくイメージを持たれる方がいるかもしれない。「当社では経営陣とのコミュニケーションを重視した丁寧な審査を心がけています」（同社）



代表取締役 滝口明子氏（右から2人目）とスタッフの皆さん

経営トップを含む、組織全体のセキュリティ意識の変革も期待できるISサーティフィケーションの認証審査。社会からの信頼を得る有効なアプローチといえるだろう。

INFORMATION



ISサーティフィケーション 株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂2-14-5
Daiwa 赤坂ビル7F

TEL 050-3595-5352

MAIL info@iscert.co.jp

URL https://www.iscert.co.jp/